

寒河江市教育委員会会議録

令和3年7月19日 開会

寒河江市教育委員会

令和3年7月19日（月曜日） 寒河江市教育委員会

○ 出席者（5名）

教育長 軽 部 賢

委員 鈴木 淳 一 委員 國 井 晴 彦

委員 高 橋 まり子 委員 鈴木 多鶴子

○ 欠席委員（0名）

○ 事務局職員の職氏名

学校教育課長 佐 藤 肇 指導推進室長 大 竹 純

生涯学習課長 後 藤 芳 和 スポーツ振興課長 小 泉 尚

○ 委員会日程

教育委員会日程

令和3年7月19日（月曜日）

午後1時30分 開 議

寒河江市立図書館2階会議室

1 開 会

2 議事録承認

3 教育長報告

4 議 事

議第35号 令和4年度使用教科用図書の採択について

会議に付した事件

教育委員会日程に同じ

1 開 会 13時30分

○軽部 賢 教育長

それではただ今から、7月の定例教育委員会を始めます。よろしくお願いします。

2 議事録の承認

○軽部 賢 教育長

初めに、前回6月23日の会議録の承認についてお願いします。

(前回の会議録を回覧の上、全出席委員が署名を行った。)

3 教育長報告

○軽部 賢 教育長

ありがとうございました。続きまして教育長報告を行います。前回6月23日以降の教育委員会以降の主な行事についてご報告いたします。

6月24日13時30分から、今年度採用された初任者研修の市町村教育委員会における研修会として、西村山地区内小中学校に採用された教諭18名、養護教諭5名、主事2名に、講話をさせていただきました。後半は、全員で慈恩寺テラスを見学しております。慈恩寺境内での視察も当初予定されていましたが、天気予報で雷雨が心配されていたので、情報交換に変更しております。

6月25日9時30分から議場にて、市議会6月定例会・予算特別委員会、本会議が行われております。追加議案として、令和3年度一般会計補正予算案として、プレミアム率30%の電子商品券発行が承認され、閉会しております。

15時から市立図書館で、LED化改修の入札を行っております。

6月28日9時から、マンデーミーティングが開催され、市長から、令和3年も半分が経過した、事業を本格的に始動する時期だ、というお話がありました。

13時30分から、寒河江中部小のガス回転釜入札に臨んでおります。

14時から、陵南中の電子黒板入札を行っております。

17時から、齋藤ワクチン対策室長と佐藤学校教育課長、大竹指導推進室長と、市内小中高生へのワクチン接種について検討を行っております。市PTA連合会にも意向を確認してはどうか、ということになりました。

6月29日10時30分から、寒河江中部小学校の校内授業研を参観させていただきました。鹿間菜央教諭の「倍の見方」の授業を見せていただきました。校内の多くの先生方が熱心に参観しており、切磋琢磨しながら教育の質の向上につなげようとしていると感じました。

12時45分から、NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の吉岡プロデューサーの市長表敬訪問に先立ち、名刺交換をさせていただいております。

14時から、第50回さくらんぼの都市さがえ全国俳句大会の報告会に出席しておりま

す。実行委員長の松田弘三様より事業報告があり、佐藤市長より、小野洋子様(市内八鍬)と阿部栄子様(市内島)に市長賞の「秀逸」が授与されました。

6月30日9時から、寒河江小学校に、市教育委員会学校訪問を行っております。学校経営概要の説明、その後授業通覧、管理職との懇談を行っております。

14時から、スポーツ振興課笹原課長補佐より、指定管理者の一般社団法人寒河江市体育協会と株式会社ヤマコーの評価報告について説明を受けております。

7月1日10時から、定例課長会議が開催されております。デジタル戦略課長より、市のデジタル戦略計画策定及び同策定委員会の設置について話題提供がありました。

11時から、市文化センターで開催された中央公民館運営審議会に出席しております。代表が代わった、市校長会の成原浩之会長と、市PTA連合会の木村信洋会長に委嘱書を交付しております。市公民館連絡協議会の有川会長を座長に令和3年度中央公民館運営方針と事業計画について協議しております。

14時30分より、オンラインにて西村山市町教育委員会連絡協議会理事会、その後総会、そして研修会が行われております。研修会では、村山教育事務所長の田中克様より「管内教育に関する概況等」について講話をいただき、新型コロナウイルス感染症対策とGIGAスクール構想への対応を中心に講話をいただき、その後、各市町の取組みについて情報交換を行っております。

7月2日10時から、第63回新型コロナウイルス感染症対策本部会議が開催されております。県及び市の感染者の確認事例、市の経済対策の状況、今後のワクチン接種計画について報告がなされております。

10時50分から、三泉小学校の授業研究会を参観させていただきました。4・5年複式学級の大津美紀教諭による「小数のしくみ」、「小数の倍」の授業を見せていただきました。子ども達が間接時(先生が付かない時間)に、リーダーを中心にしっかりと自力解決する姿を見ることができました。谷地西部小の須藤校長、高松小の井上校長も参観されておりました。授業後、村山教育事務所の大場指導主事、武石指導主事と管内のGIGAスクール構想への対応状況について情報交換を行っております。

15時から、ハートフルセンターで、第8回寒河江市立学校のあり方検討委員会を開催しております。複式学級や1学級あたりの児童数、学校統合の考え方等15の論点について、全委員よりご意見をお聞きしたところです。

7月3日9時40分から、白岩小学校の親子行事「たかだいセミナー」を参観させていただきました。全学年なのですが、白岩と田代と幸生にそれぞれ分かれて、5・6年生は白岩地区ということで、初めに校長先生と保護者の方から、白岩城に関する講話をお聞きして、その後、八幡神社や白岩城の堀切などの遺構を見学しております。

10時15分から、高松小学校の「6年生親子フェスティバル コドモモシゴト」を参観させていただきました。大沼モーターズ様、若月印刷様、高橋建築様、toccare様、花ei様によるブースが設けられて、親子で体験をしていました。

7月5日9時から、マンデーミーティングがありました。市長からは、熱海市の土石流の話がありまして、7月の雨の量には十分に注意しながら日頃の業務をお願いしたいと話がありました。

10時30分から、小中高生へのワクチン接種に係り、副市長、ワクチン対策室長、健康福祉課長、危機管理課長、学校教育課長と協議を行いました。ワクチン供給の不透明さもあるので、小中高生の優先接種は行わず、59歳以下について、年齢順に行っていくことを確認しております。

7月6日9時から、南部小学校の市教育委員会訪問を行っております。学校経営概要説明では、校長から支援の必要な児童について丁寧な説明がありました。また、1人1台タブレットを積極的に活用していました。

13時30分から、陵西中学校2年生のライフデザインセミナーを参観させていただきました。今年からコミュニティ・スクールが導入されていますが、地域コーディネーターの工藤恒雄様の同級生で、河北町で獣医師をされている渡辺大作様の講演でした。寒河江高校を卒業、岩手大学農学部に進んだ後、NOSA I山形、北里大学獣医学畜産学部教授に勤務した経験なども含め、獣医師の仕事をお話してくださいました。

18時から、学校教育課長、指導推進室長と、企画創成課荒井主任より、地域おこし協力隊のミッション募集について説明を受けております。新第6次市振興計画に盛り込まれているコンソーシアム構想実現に向けて、この制度を活用できないか、と相談させていただいたことを受けて、説明をしていただきました。今後、両課で情報共有しながら検討していくことを確認しております。

7月7日9時30分から、市立図書館での校長会に出席しております。「教育長通信」第43号に基づいて、挨拶をさせていただきました。後ほどご覧いただきたいと思っております。その後、学校教育課長から教育総務係・学事係所管事項(定例監査報告、タブレット修理、避難所マニュアル、工事関係予定、さくら連絡網、コンピュータ室のノートPCの取扱い等)について説明させていただき、指導推進室長からは、所管事項(学力向上の視点、生徒指導、教職員の服務・時間外勤務、学校運営協議会の状況、タブレットPC使用状況調査等)の説明を行っております。

10時30分から、校長会后、市長より新第6次寒河江市振興計画の教育に係る部分を中心に講話をいただきました。

11時40分から、引き続き、第50回さくらんぼの都市さがえ全国俳句大会市内小・中学校表彰式を行い、南部小学校と陵西中学校の校長先生に賞状と楯を授与させていただきました。

13時30分から、議会会議室にて小中学校のエアコン整備工事の入札、14時から小学校のトイレ大規模改修工事の入札を3回に分けて執行しております。

7月8日9時30分から、市文化センターにて、市文化財保存活用地域計画検討委員会が開催されております。副市長が委員長となっておりますが、関係課長より、市文化財保存活

用地域計画(案)について、意見を頂戴しております。修正の必要な箇所も指摘され、内容だけでなく、文化庁への申請延期も含め、事務局にて再度検討することになりました。

13時30分から、陵東中学校2年生の総合的な学習の時間「課題解決プロジェクト」を参観させていただきました。

15時30分から、生涯学習課三井補佐と打合せをして、午前中の文化財保存活用地域計画検討委員会の話し合いを受け、関係各課と更なる検討を行い、内容を精査、実効あるものとするため、文化庁への申請を更に半年遅らせる方向性を確認しました。

7月9日、8時50分から市教育委員会学校訪問を陵南中学校にて実施しております。日課表改善やコミュニティ・スクール導入、部活動任意加入など、教育課題に積極果敢に取り組もうとする姿勢を感じたところです。

13時30分から、西部地区公民館で、公民館及び体育館の劣化度調査完成検査を行いました。安孫子建築事務所様から、修繕箇所や状況や優先度、修繕に必要な費用等について説明を受けております。

14時から、生涯学習課長、課長補佐と打合せを行い、文化財保存活用地域計画について、申請を半年遅らせること、そのことを伊藤委員長や委員の方に説明し了解を得ること、また、遅らせることで地域計画をより良いものにするために、関係各課から意見聴取することで、市長部局とも連携したより説得性、実効性のあるものにしてはどうか、とお話させていただきました。また、今年度会計年度任用職員として採用した、社会教育指導員、図書館司書の退職に係り、その後の対応についても協議しております。

7月12日、9時からマンデーミーティングが開催され、市長より、梅雨の末期で大雨の危険性があり、改めて気を引き締めてほしい。また、コロナ感染も県でも本市でも出てきたので、市民向けの注意喚起メッセージも準備する必要があるだろうとのお話がありました。夏休みの時期でもあり、職員がローテーションしながら効果的に取得し、夏を乗り切ってほしいとお話もありました。

10時から、技術交流プラザを会場に開催された寒河江市共同募金委員会運営委員会に、教育関係の代表として、三泉小学校の阿部校長とともに出席しております。任期2年の新会長として、市議会議長の國井輝明様、副会長に町会長連合会長の菊池進様と民生委員児童委員協議会会長の佐藤富士夫様が選出されました。会長が座長となり、令和3年度の事業計画や予算案等について審議し、全会一致で了解されております。

15時から、市内小中学校の机・椅子購入に係る入札を執行しております。

16時から、第64回新型コロナウイルス感染症対策本部会議が開催され、本市における新規感染者の状況等について報告がなされております。また染症対策業務継続計画(案)やワクチン接種状況等について協議を行っております。

7月13日“さがえ”さくらんぼマラソン2021オンライン大会において、参加賞発送確認の電子メールを送信する際、他者のアドレスが判別できる状態で発信した事案が発生したことに係り、市職員全体の信用を著しく失墜させたという事案がございました。このこ

とについて、スポーツ振興課の関係職員に対して、「口頭厳重注意処分」を言い渡しております。

1 1時45分から、陵西中学校の校内授業研究会で、辻典子教諭の授業を参観させていただきました。短歌の鑑賞文を書くため、生徒同士が語彙にこだわりながら交流し合う授業で、生徒の感性の豊かさや文章力に感心してきたところです。

1 3時30分から、第1回目の教育委員会事務事業評価会議を開催しております。山形大学の三浦先生、前陵南中学校長の佐藤志津男先生に委嘱書を交付しております。その後、3課41事業について、自己評価を説明申し上げ、先ほどの2名の方に秋場礼子様を加えた3名の外部評価委員の方より、質問を受けております。

1 6時45分から、副市長、ワクチン接種対策室長、防災危機管理課長、学校教育課長と、県で実施するファイザー製ワクチンの大規模接種の対象者が12歳以上の県民に変更されたことに伴い、12歳～17歳の市民に接種券を送付することについて協議しております。18歳から59歳までにはすでに発送しておりますけれども、さらにその下の年齢についての協議でした。教育委員会としては了解して、市医師会とも調整し、翌日行われる対策本部会議に諮ることを決めております。

7月14日9時から、市教育委員会学校訪問を陵東中学校で行っております。

1 3時30分から、保科弘治様の教育事務所長による死亡叙位叙勲伝達に随行しております。奥様と娘さんが対応してくださいました。附属中副校長や陵東中校長時のことについて懐かしくお話してくださいました。

1 4時から、醍醐小学校で「日和田弥重郎花笠田植踊を学ぶ会」の様子を途中から参観させていただきました。醍醐小学校でも今年度からコミュニティ・スクールが始まっておりますが、地域コーディネーター2名を含む地域の方10名より熱心に指導していただいて、全校児童も真剣に練習していました。

7月15日、白岩小と醍醐小の6年生が、英語交流学习をZOOMで行いました。私はその様子を白岩小学校で参観させていただきました。AETの森先生が発案されて、白岩小の佐々木先生、醍醐小の小関先生が賛同して実現した交流でした。全員がオール・イングリッシュで自己紹介、その後、質問し合う活動なども取り入れておりました。内容、発音、表情、受け応え、共に質の高い、素晴らしいものでした。白岩小ではAETの森先生、醍醐小ではALTのタリク先生が丁寧にサポートしてくれました。タブレットで撮影した自分の好きなものを紹介する児童もおり、タブレットが必要に応じて有効活用されていると感じました。また若い先生が学校を超えて連携して取り組んでいる様子、そして子ども達が真剣に取り組む姿に感銘を受けました。

1 4時から、陵東中の校内授業研究会を参観しております。芳賀彰洋教諭・今野克哉教諭による2年の「マット運動」の授業でした。1人1台タブレットを使って、自分の演技を動画撮影しておりましたけれども、まだ使い始めという感じで、振り返りや評価活動に、さらに活用できる可能性を感じました。助言者として県立東桜学館中学校の橋教頭が招聘され

ておりましたが、同様のことを感じていらしたようでした。授業前に東桜学館の教育、(開校から6年が経過し、当時の中学1年生は今年高校3年生となったこと)についても、お話をお聞きいたしました。

7月16日、議会会議室にて小中学校手洗い等非接触自動水栓整備工事の第Ⅰ工区、引き続き、第Ⅱ工区に分けて入札を行っております。

7月17日、寒河江市美術館で開催中の若手作家企画展「音海はる」展を鑑賞しております。新聞にも掲載されておりますが、色鉛筆で描いた写真のような絵に、鑑賞していた人は、感嘆の声を発していました。

13時30分から、寒河江小学校5年生の親子行事「キャリアワークショップチャレンジ～コードモシゴト in 寒河江小学校」を参観させていただきました。体育館や教室、駐車場に、26の事業所がブースを設けて、親子が各ブースを回りながら、職業体験に取り組んでいました。大変有効な取り組みであると感じました。山形新聞や市広報が取材に来ていました。企業だけでなく、寒河江工業高校も、プログラミング学習の体験を準備していました。河北中学校の鈴木校長も、河北町でも実現できないかと視察に来られていました。

以上でございます。それでは何か質問等ございませんか。お願いいたします。

○高橋まり子 委員

7月15日の、7ページですけれども、白岩小と醍醐小6年生の英語交流学习、非常に素敵な取り組みだなと思って今お聞きしました。これは、ZOOMを活用してということですが、生徒一人ひとりのタブレットを使ってですか、それとも学校のコンピュータ室のパソコンですか。

○軽部 賢 教育長

大型画面ですね。タブレットじゃなくて、65型の大型モニターを通して。

○高橋まり子 委員

では、そのビデオカメラは、どのようにしたのですか。

○軽部 賢 教育長

それにカメラを繋いで。醍醐小は画面越しに見ていたら、大きなテレビ画面にパソコンを繋いでいました。白岩小は大きな画面に向かって喋っていました。

○高橋まり子 委員

今後の活用の方法によっては、生徒が持っているタブレットで、学校間の交流的なこともやろうと思えば可能なのでしょうか。クラスの中で、先生と生徒ということだけでなく、このような、学校を越えた交流っていうのもやろうと思えば可能なんではないでしょうか。

○軽部 賢 教育長

結局、一対一の対応をしている訳ですが、それを大きな画面に写しているのです、例えば1人が自己紹介してそれに質問して、質問を返すという英語のやり取りを、みんなが見ているのが映し出されている、そういった授業でした。

○高橋まり子 委員

もっと広がっていくといいなと、面白いなと思いました。

○軽部 賢 教育長

今度、高松小学校とやりたいということでした。陵西中学校区でということですので。

○高橋まり子 委員

やり方によっては、そういう同じ中学校区の小学校同士で、入学前の事前交流を兼ねて、非常に有効な取組みではないかと思いました。あと同じような事なんですけれども、市の校長会でパソコンの活用状況について、という議題があったということだったんですけれども、タブレットが導入されたことで、今まであったパソコンの扱いは、どのようになっているのでしょうか。

○軽部 賢 教育長

大竹室長から、説明をお願いします。

○大竹 純 指導推進室長

まず、コンピュータ室のノートパソコンの取り扱いにつきましては、そもそも、子どもたちが使っているタブレットにはキーボードが付属しているので、このノート型パソコンの役割は終了だろうということで、リース契約が切れた所から撤去していくということを説明させていただきました。それから、タブレットPCの使用状況調査につきましては、8月下旬から9月にかけての一週間で、それぞれの先生がご自身のタブレットを使っただいて、その使用状況について入力してもらうということで、これまでは、「それぞれの先生が紙で教頭に提出して、教頭が取りまとめて教育委員会に提出する」という流れでやっていたのですが、今回の使用状況調査については、それぞれの先生が直接、教育委員会で設けたサーバー内の質問に答えていくというシステムにして調査を行うということを説明させていただきました。

○高橋まり子 委員

まだタブレットが入ったばかりなので、調査結果などを見ながら行っていくということなんでしょうね。

○軽部 賢 教育長

その他、ございませんか。

○國井晴彦 委員

7ページ、陵東中の校内授業研究会の中で「県立東桜学館の橘教頭先生がいらっしやっただ」というお話があったと思うんですが、何年か前に、私と鈴木委員が、東桜学館が出来た時に見せていただいて、非常にあの当時は新しい校舎と、新しい教育システム、そして優秀な先生と、優秀な子どもたちを地域から集めてやるんだ、ということで、すごい学校になるのかなと思っていたのですが、それから6年経つということですよ。もちろんその当時からタブレットを先進的に使っていて、前身の楯岡高校というのは跡形もなくなっているという中で、実際に今年どういう大学から推薦がくるのかとか、もしかしたら東大に何人も入るとか、そういう所から評価が決まってくると思うんですが、今のところどうなっているのでしょうか。一時期、山形東高校を超えるような高校に、というような話もあったかと思うのですが。

○軽部 賢 教育長

授業の始まる前でしたので、それほど詳しい話はありませんでした。今、國井委員からあったように、当時の一年生が高校三年生になったということで、同じ学校で六年間過ごしている子どもが卒業の年を迎えるということです。開校当時は楯岡高等学校の生徒が3年間在籍したわけですが、最近の新聞で、国立大学の入学者がだいぶ増えた、という記事があったと思います。あと、タブレットも6年経っているので、故障なども出てきているということでした。最初「ミライシード」を入れていて、その時は一人一台タブレットではなかったわけですが、この時はミライシードを使っていたらしいんですけど、今は完全に一人一台になっているんですけど、同じような機能を持っている、「ロイロノート」を使っているという話などをお聞きしました。使い方については、機能はたくさんあるのですが、どのように使うことが、より効果的かというのは、私が感じていたようなことを、もう既に橘教頭も感じておられるようでした。

○鈴木多鶴子 委員

質問なんですけども、学校訪問での電子黒板とかタブレットの授業を見せていただいて、今後、電子黒板がこれからどの位増えていくのか、今後というか今年度ですね、どのようになっているのか教えてください。

○佐藤 肇 学校教育課長

電子黒板につきましては、最終的には一学級に一台というふうなことを目標に準備整備していきたいというふうに考えております。当初は、各階に一台というふうなことだったん

ですけれども、そのところを進めていくというようなことになります。各階に一台のところからになりますと、どうしても陵南中がクラスが多いということで、今年度については陵南中学校を集中的に整備していく予定としております。全体的に徐々に一学級に一台というような方向に進めていきたいと考えております。

○鈴木多鶴子 委員

だと陵南中には今年度何台入るのでしょうか。

○佐藤 肇 学校教育課長

ちょっと台数までは、本日資料を持ち合わせていません。

4 議 事

○軽部 賢 教育長

その他ございませんか。教育長報告は以上といたします。

では、議事に入ります。最初に議第35号「令和4年度使用教科用図書の採択について」を議題といたします。事務局より説明をお願いします。

○大竹 純 指導推進室長

それでは、議案1ページをお開き下さい。議第35号「令和4年度使用教科用図書の採択について」寒河江市立小中学校の令和4年度に使用する教科用図書を採択する必要がありますので、提案いたします。

市町村立の小中学校で使用される教科書の採択の権限は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律や、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律等々により、市町村教育委員会にあります。また、採択にあたっては、市町村の区域、またはこれらの区域を合わせた地域を採択地区として設定し、地区内の市町村が共同して種目ごとに同一の教科書を採択することになっています。そこで、一昨年度と昨年度、西村山地区内の市町村立の小学校及び中学校において使用する教科書の採択について、協議を行うことを目的として、西村山地区教科用図書採択協議会を設け、研究員の代表者から、研究した結果に基づき報告されたものについて、委員の皆様から審議していただき、教科書を選定していただきました。

2ページをお開きいただき、別紙1をご覧ください。令和4年度使用教科用図書、小学校の一覧です。小学校の教科書は、令和2年度に採択され、令和5年までの4年間、この一覧にある教科書を引き続き採択するという形になっております。

続いて、隣の3ページの別紙2をご覧ください。令和4年度使用教科用図書中学校の一覧です。中学校の教科書については、昨年度採択され、小学校同様、令和6年度までで4年間引き続き採択する形になっておりました。しかし、別冊の中学校用教科書目録、令和4年度

使用というものをご覧いただくとお分かりになるわけですが、社会歴史的分野において、とある一社の教科書は、昨年度に文科省の検定を通り、今年の3月末に通知されるという、これまであまり経験したことがないことが起こりました。ページでいうと、3ページでございます。3ページの社会歴史的分野で、検定済みの年がずっと書いてあるわけですが、令和3年の部分がございます。こちらの教科書でございます。そういったことがありましたので、急遽、西村山地区教科用図書採択協議会を設け、社会歴史的分野を、昨年度担当して下さった研究員から研究していただきました。その代表者から報告された結果について、委員の皆様から、書面において審議・選定していただきました。その結果、昨年度と同じ、帝国書院の教科書が選定されております。

1ページに戻りまして、特別支援学級用教科用図書について申し上げます。特別支援学級では、文科省著作の特別支援学校用、小中学校の小中学部の教科書、それから、山形県教育委員会が調査研究した一般図書を教科書として使用することが出来ます。他に選べるものがない教科書と一般図書とありますので、これらも併せて採択していただきますようお願いいたします。以上よろしく願いいたします。

○軽部 賢 教育長

ただ今の説明についてご質問ございますか。

例年にないような形になりましたけれども、中学校の別紙については、先ほどありましたように、自由社のものが、初め検定を通らなかったのですが、その後通ったんですね。それで、それを含めて採択替えをしても良いという通知が文科省からありました。採択協議会というのは、委員の方の旅費も必要ですし、当初は、必要ではないということで、予算要求しておりませんでした。ですので、予算のない中でどのようにやろうかと検討しました。ただ、しっかり研究して検討し、改めて決めるというふうな手続きが必要なのではないかということで、寒河江市以外の町の教育委員会の教育長さん方とも話をし、書面にて、集まらない形で検討していただいたところ、昨年度決めていただいたものと同じような形となりました。結果的には同じ教科用図書になってしまいましたが、自由社の教科書についても、調査員の方から調査をしていただいて、中学校の歴史は前回ご了承いただいた帝国書院が良いのではないかといった、調査員の研究結果を受けまして、こういった形で出させていただきました。結果的には同じなんですけれども、プロセスというか、しっかりやっていきたいというふうに思い行いました。

質問はよろしいですか。なければ採決したいと思います。議第35号「令和4年度使用教科用図書の採択について」原案の通り決定することに異議はありませんか。

(一同、異議がない旨の返答)

議第35号は原案の通り決定されました。

本日の予定されている議案については以上になります。議員の皆様からは何かございますか。なければ、教育委員会を閉会したいと思います。

5 閉 会 午後2時10分